

2026年度 夏季

海外体験型研修（SDGsを学ぶ）②

募集要項

・バリ島 プログラム（多文化共生＋児童養護施設でのボランティア活動）

①シンガポール プログラム

クアラルンプール プログラム ※別冊子参照 募集期間、出願方法が異なります

②プログラム

【申込期間】4月20日（月）12:30～5月7日（木）13:00

【申込方法】Microsoft Forms からエントリー 先着順受付

プログラム修了者全員対象 ※いずれも所定の手続きが必要

◇ 奨学金給付：有

◇ 単位認定：有

【説明動画オンデマンド配信】3月27日（金）～

※申込を検討している人は説明動画視聴が必須です。



関西大学 国際部



関西大学 SDGs ラーニングプログラム(実践)の正課外指定プログラムです

内容

制度	2
1. 海外体験型研修（SDGsを学ぶ）とは	
2. 単位認定	
3. 国際交流助成基金短期派遣奨学金について	
申込みにあたっての注意事項（必読）	3
1. 参加にあたっての心構え	
2. キャンセルポリシー	
3. 出発前の留学取消について	
プログラム概要	5
1. プログラム実地一覧	
2. プログラム全体についての案内事項と補足	
3. バリ島プログラム参加にあたる特別注意事項	
4. 参加費用についての補足事項	
出願準備	7
1. 誓約書	
2. パスポート確認	
3. 「志望動機」・「参加にあたっての目標」準備	
出願の流れ	9
1. 出願期間	
2. 出願にあたっての注意事項	
3. 出願	
4. 結果通知	
5. 面談	
安全対策方針	10
支払い・手続き	11
1. 参加費支払い	
2. パスポートコピー提出	
3. 渡航までに必要な手続き一覧	
留学準備オリエンテーション・セミナー	12
プログラム詳細・スケジュール	13
情報収集・相談会	15
1. 過去の参加学生の留学報告書（関大 LMS）	
2. 説明動画	
3. 各キャンパス相談会	
4. 問い合わせ先・個別相談	

制度

1. 海外体験型研修（SDGsを学ぶ）とは

夏休みおよび春休み期間中の1～4週間、それぞれの行き先に応じたSDGsに関する学びのテーマを設定した短期プログラムです。英語で国際的な課題を知り、グローバルマインドセットを体感することができます。

在学中の1～4年次学部生、大学院生の誰でも参加可能です。語学要件はありません。

参加資格

(1) 在学中の1～4年次 学部生および大学院生であること	単位認定対象プログラムのため、休学中の学生は応募不可。 単位取得状況が、下記条件を満たしていることが望ましい。 1年次生：2026年春学期までに15単位以上を修得見込 2年次生：2025年秋学期までに30単位以上修得済 3年次生：2025年秋学期までに60単位以上修得済 4年次生：2025年秋学期までに90単位以上取得済
(2) 期日までにプログラム修了期間および渡航先国の基準を満たすパスポートを提出することができること	参加申込時にパスポート未申請、有効期限切れの場合は、参加確定後、速やかに申請手続きを行う必要があります。
(3) 各キャンパスで2026年4月に実施される定期健康診断を受診していること	未受診の場合は本学指定医療機関（有料）で5月31日までに受診する必要があります。健康診断の詳細や指定医療機関については保健管理センター事務室に確認してください。
(4) 誓約書に記載する事項を遵守し、きちんと理解実行できること	誓約書は参加申込時にMicrosoft Formsにて提出してください。詳細は「申込み手順」に記載。
(5) 留学前後に行われる各種オリエンテーション・セミナーに出席すること	オリエンテーション・セミナーの日程詳細については12ページに記載。

2. 単位認定

科目名	海外研修（参加プログラム名）
認定単位数	バリ島（インドネシア）：2単位 ・ 単位は授業時間数（30時間：1単位／60時間：2単位）に応じて認定されます。30時間未満の場合、また出席率が低い等の理由によりプログラムが修了できず、修了書が得られない場合は単位認定はありません。 ・ 成績は「認」の付与となります（プログラム修了者のみ） ・ 本単位の取扱いについては学部・研究科によって異なるため、詳細は申込前に教務センターで確認するほか、「大学要覧」を参照のこと。

3. 国際交流助成基金短期派遣奨学金について

参加者全員にプログラム修了後、プログラム毎に決められた給付奨学金が支給されます。

奨学金受給にあたって必要な手続きは別途お知らせします。

【支給条件】・現地での授業や活動においてきちんと出席していること（出席率が著しく低い場合等は支給できません）

・帰国後の報告書と修了書を期日までに提出すること

申込みにあたっての注意事項（必読）

出願や必要な手続き、国際部への問い合わせは必ず参加する学生本人が行うこと。

- 【1】 参加決定後は、キャンセル（留学辞退）や留学先の変更は不可です。
キャンセルすると、プログラムの参加人数減による参加費用の増額や催行中止に繋がり、他の参加者に大変迷惑がかかります。事前に十分検討のうえ申し込んでください。
- 【2】 日本国籍以外の参加者は、渡航先によって別途査証（ビザ）取得が必要な場合があります。
事前に取得方法および申請資格の有無を確認してください。
- 【3】 必要な手続きやプログラム参加に関する連絡は関大 Web メール（k+6 桁@kansai-u.ac.jp）にて行います。重要な連絡ですので、見落としのないようにしっかりと確認すること。

1. 参加にあたっての心構え

本プログラム参加にあたり、以下の事項を十分理解し、責任ある行動をとること。

遵守できない場合、あるいは違反した場合は、途中帰国または参加を取り消す場合があります。

(1) 現地での行動について

- ・ 現地コーディネーターおよび国際部の指示に従うこと。
- ・ 現地の法令・社会的マナー・文化・風習を尊重し、関西大学の学生として相応しい行動をとること。
- ・ 団体行動を伴う場面では、節度ある行動と協力的な姿勢を心掛けること。
- ・ 現地での勉強および異文化体験に積極的に取り組む姿勢を持つこと。

(2) 自己責任と事前準備について

- ・ 自己責任の原則を理解し、自ら情報収集を行い、トラブルや問題の未然防止に努めること。
- ・ 各種提出物は、定められた期日までに必ず提出すること。
- ・ 留学前後に実施される必須オリエンテーション・セミナー等にはすべて出席すること。
- ・ やむを得ない事情がある場合は、必ず事前に国際部へ申し出て指示を受けること。

2. キャンセルポリシー

- ・ 申込後のキャンセルは不可です。
- ・ 申込前に、費用・プログラム内容等を十分に確認し、保証人の方とよく相談した上で出願してください。
- ・ 参加決定後にキャンセルした場合、参加費支払い前であっても、やむを得ない理由により参加を辞退する場合でも一定の取消手続き費用が発生するため、参加費全額の返金は保証できません。
- ・ 自己都合でない場合でも、渡航前にプログラムが中止となった場合の取消手続き費用は自己負担となります。
- ・ 支払完了後、パスポート紛失や疾病等で出発が遅れてしまった場合、またプログラム途中で帰国した場合の違約金・追加料金の手続きは、キャンセルポリシー、(株)関大パンセの約款に準じて行います。

[自己都合でない場合の例]

- ・ 留学先の受入状況や治安状況の悪化、世界情勢の変化、自然災害などの不可抗力の場合
- ・ 健康や個人的事情で参加が取消となった場合
- ・ 査証が発給されず、プログラムに参加できなくなった場合
- ・ 渡航直前の体調不良等で予定の便での出発ができなかった場合
- ・ 体調不良やその他の事情で途中帰国することになった場合の参加できない日程が発生した場合
- ・ やむを得ない事情によりプログラムが催行できない場合

3. 出発前の留学取消について

以下を遵守できない場合、あるいは違反した場合は、所属学部・研究科に通達のうえ、留学を取り消すことがあります。この場合に発生する航空券・宿舍等のキャンセル費用はすべて自己負担とします。

- ・ 各種提出物の期限を厳守すること（未提出・期限遅延等の不履行がないよう留意すること）
- ・ 必須オリエンテーション等に出席すること（無断欠席等の不参加がないよう留意すること）
- ・ 留学準備に関する国際部からの連絡に誠実かつ速やかに対応すること（連絡不能・対応遅延等がないよう留意すること）

プログラム概要

1. プログラム実地一覧

プログラム	プログラム 期間	募集定員 (最少催行人数)	滞在形態 食事	参加費(予定) /奨学金学	実質金額
バリ島 (インドネシア)	8/15(土)~ 8/27(木)	13 (10)	●ホテル 前半: 1名1室 後半: 2~3名1室 ●三食付き/一部二食	45万円 /8万円	37万円

2. プログラム全体についての案内事項と補足

- ・ 全日程引率者が同行します。
- ・ プログラムの内容（授業、課外活動等）は現地到着後、事情により変更になる場合があります。
- ・ 留学先の受入状況の変化や治安状況等、予期せぬ事態によってプログラムを中止・中断する場合があります。
- ・ 最少催行人数に達しなかった場合は、催行中止となります。ただし、追加代金にて調整のうえ催行する場合があります。
- ・ 既往症や体調によりプログラム参加に際し、配慮が必要な場合は事前に申し出てください。

3. バリ島プログラム参加にあたる特別注意事項

- ・ 本プログラムでは主に観光地化されていない地域を訪問し、現地のリアルを体験できることが特徴です。滞在中は日本とは異なる衛生対策（トイレ、水等）や体調管理が求められます。対策詳細は事前オリエンテーションでお伝えしますので、必ず参加してください。
- ・ プログラム期間中は、海での危険が考えられる行為（サーフィン、シュノーケリング等マリンスポーツ含む）は自由行動中であっても認めません。
- ・ 活動場所には多数の犬がおり、近距離での接触の可能性が考えられます。そのため特に犬、猫アレルギーと診断されている方は必ず事前にご相談のうえ、出願時に申告してください。
- ・ 参加にあたっては、破傷風ワクチン、狂犬病ワクチンを推奨します。厚生労働省のHPでもご確認ください。

4. 参加費用についての補足事項

- 参加費の金額は 2026 年 2 月現在の為替レートに基づき算出しています。その後、為替レートや燃油サーチャージが大幅に変動した場合は予定額を変更し帰国後に実費精算します。精算が発生した場合、返金または追加徴収する場合があります。プログラム期間中に、海外旅行包括保険適用外の予期せぬトラブルが発生した場合も、別途費用の追加徴収をおこないます。
- プログラム費用は 5 ページに記載の参加費を一括でお支払いいただきます。
- 最終金額は参加決定後に確定し、参加者が各プログラムの実施サポートを行っている(株)関大パンセへ直接お支払いいただきます。
- 国籍により、ビザ申請が必要な場合の費用は個人負担です。
- 奨学金は、プログラムを修了した者に、帰国後の手続き完了後に支給します。プログラム参加者は、留学前後に行われる各種オリエンテーション・セミナー及びワークショップへの出席および帰国後の報告書提出が必須です。

含まれる費用	含まれない費用
<ul style="list-style-type: none"> ・プログラム費（活動費等） ・期間中の滞在費（朝食付き） ・食費（三食付き/一部二食） ・渡航費（航空券代、燃油サーチャージ、空港税） ・現地での交通費（空港と滞在先の往復、活動中の移動等） ・海外旅行総合保険料（ジェイアイ傷害火災保険） ・危機管理サービス費（関大 TRS） 	<ul style="list-style-type: none"> ・現地での交通費（自由行動時の移動費等） ・一部の食費 ・パスポート申請・更新に係る手続き費用 ・インドネシア観光ビザ申請料（日本国籍の場合は約 5,000 円） ・バリ州観光税（約 1,500 円） ・別途必要な場合の査証及び査証代行費など

出願準備

1. 誓約書

【1】 以下リンクにアクセスする。

https://drive.google.com/file/d/1eyHitJF_VpK98MLMRxsQ8afiRhT7Qmd5/view?usp=sharing

上記リンクを開いたら、 をクリックしてダウンロード



【2】 内容を確認のうえ、印刷して記入するか、デジタルで記入してください。署名欄は必ず直筆であることが必要です。

【3】 署名済みの誓約書を PDF または JPEG 形式にて保管する。

【誓約書はこちらからも DL できます】

写真で撮影しても構いませんが、誓約書全体が明瞭に確認できること。



⚠ 提出時の注意事項 ⚠

- ① 「安全対策方針」を熟読し、理解したうえで作成すること
- ② 署名欄は直筆での署名が必要です（本人、保証人ともに直筆が必要。代筆不可）
- ③ 署名後、ページ全体がわかるデータ（PDF または JPEG）で準備しておいてください。

誓約書

関西大学国際部長 殿

私は、海外体験型研修(SDGsを学ぶ)り島(インドネシア)研修プログラム(以下、留学プログラムという。)に参加するにあたり、次の事項を遵守することを誓約いたします。なお、誓約書に反する行為を行った場合、留学が取消または短縮されることを了承いたします。

内容を遵守する場合、印をしないこと

- 1 留学プログラムの趣旨を十分理解し、事前・事後のオリエンテーション期間中も含めて学業に専念すること。
- 2 留学に係る手続き及び留学中の授業や生活など日常的課題に関する事項を、自己の責任において行うこと。トラブルが発生した場合、関西大学国際部や研修先コーディネーター等と密に連絡を取って問題解決に努めること。
- 3 期日までに必要書類を提出しない、必要な手続きを行わない、オリエンテーション・レディネセミナーに参加しない等、派遣生としてふさわしくない素行上の不良が確認された場合、警告が与えられ、警告後も改善が見られない場合は、留学プログラムへの参加が認められない、または単位が認定されない場合があることを了承すること。
- 4 出発及び帰国の日程ならびに旅程については本学の指定に従うこと。また本学が指定した滞在先(家、ホテル、ホームステイ)へ滞在すること。
- 5 渡航期間中は団体行動を伴う場面が多いため、団体行動を乱す行為があった場合はやむを得ず途中帰国もありうることを理解すること。
- 6 渡航期間中は滞在国の法令、社会的マナーや文化・慣習、研修先の定める規則、指導教員・担当者等の指示に従い、かつ日本の法令や本学の学則等規程に反することのないよう、本学学生としての自覚と責任において行動すること。
- 7 本学の留学プログラムを通じて留学する学生の安全対策として、外務省海外安全ホームページにて発表される「危険情報」「感染症危険情報」の4つのカテゴリおよび本学の進行判断基準に基づき対策を講じる。渡航先の治安状況等予期しない事態によって、留学プログラムが急遽中止または即時帰国となった場合、本学の指示に速やかに従うこと。
- 8 渡航期間中は体調管理を含め自らの故意または過失により生じた損害や事故について、各自がその責任を負うこと。
- 9 留学に際しては、出発日から帰国日まで本学指定の海外旅行包括保険および危機管理支援サービス(即大 TRS)へ加入すること。なお、本学指定の海外旅行保険に加入した場合であっても、留学先大学から現地保険に加入することを求められた場合は、双方の保険に加入すること。
- 10 緊急時における安否確認対応のため、関西大学が加入する日本アイラック安心サポートデスクの「緊急時安否確認システム(プロ・ファイナダー)」へ学生本人の渡航に関する個人情報を提供することに同意すること。また有事の際には、同システムまたは本学からの安否確認連絡に速やかに対応すること。
- 11 渡航期間中に、疾病・事故等があった際、保険ではカバーできず追加費用(例えば、家族の現地への渡航費等)が発生する場合もあることについて事前に保証人の了解を得、その支払いについて学生本人及び保証人がその責任を負うこと。
- 12 自己都合でなくとも、何らかの理由で渡航前にプログラムがキャンセルとなった場合、キャンセルに係るすべての費用については自己負担となること。
- 13 支払完了後、やむを得ない理由で参加を辞退する場合や、パスポート紛失・疾病などで出発が遅れた場合、また途中で帰国した場合の違約金・追加料金の手続は、各研修先のキャンセルポリシー及び旅行会社の規約に基づき行うこと。
- 14 渡航期間中は、車両(自動二輪車を含む)の運転を行わないこと。またバイクタクシーを利用しないこと。
- 15 渡航期間中は自由時間を含め、海軍の危険な行為(サーフィン、シュノーケリング等マリンスポーツ含む)が禁止であることを理解すること。
- 16 渡航期間中に、留学プログラムで定める滞在先(滞在都市)以外に個人で旅行・滞在することは認められないこと。(研修先からの紹介や自身で追加するアクティビティを含む)
- 17 本学からの緊急連絡等のため、必ず連絡先を届け出ることとし、変更になった場合も、速やかにその旨を届け出ること。
- 18 既往症がある場合は、海外渡航において主治医から許可を得ていること。
- 19 既往症については、海外旅行包括保険の補償を受けられないことを理解すること。
- 20 日本の大麻取締法は、国外において大麻を所持し、栽培したり、所持したり、譲り受けたり、譲り渡したりした場合などに罰する規定があるため、留学先国・地域の法令にかかわらず、日本の法令に従って大麻やその他のドラッグの使用をしないこと。使用が発覚した場合、留学が取り消され、即時帰国、懲戒の対象となること。
- 21 学生の個人情報はプログラムへの申し込みにあたり、関西大学から研修先および留学サポート会社に提供されることを理解すること。

以上

② 年 月 日

③ 学籍番号 学生署名

保証人は、上記事項を確認し、これを学生本人が遵守することを保証します。

④ 保証人署名

⑤ 【日本での緊急連絡先】 ※変更になった場合はすみやかにその旨を届けること
氏名： (本人との続柄) 連絡先(携帯等)：

① チェックを入れる

※必ず保証人の方にも参加の意思を伝え
誓約書の内容を理解してもらった上で
自筆署名をもらうこと。保証人の署名でない
と思われるものに関しては書類不備扱いとし、
出願は受けません(代理署名不可)

② 記入した日を記入

③ 必ず直筆で記入

④ 必ず直筆で記入(代筆不可)

⑤ 署名者と同じ場合も、必ず記入してください

2. パスポート確認

⚠️ 有効期限が 2027 年 2 月 16 日以降のパスポートが必要です ⚠️

- 出願時点で有効なパスポートを所持している必要はありません。
ただし、**参加確定後は速やかに申請手続きを行ってください。**
- **6 月 1 日までに、渡航時に有効なパスポートのコピーを提出する必要があります。**
パスポートの取得には **1 か月以上かかる場合もあるため、早めの手続きを推奨**します。
- 申請方法は自治体によって異なります。
新規取得または更新が必要な方は、**必ずご自身の自治体にて申請場所・申請方法・必要書類を確認**すること。
- パスポートコピーの提出方法については、参加確定者に別途ご案内します。

3. 「志望動機」・「参加にあたっての目標」準備

出願フォームの質問項目に、「志望動機」および「参加にあたっての目標」があります（それぞれ 250 字以上）。
先着順受付のため、事前に記入内容を準備しておくことをお勧めします。なお、他の質問項目は以下です。

＜出願フォーム質問項目＞

学籍番号、氏名、所属学部、学年、携帯電話番号、語学力、海外経験、既往症、
犬猫アレルギーの有無、志望動機（250字以上）、参加にあたっての目標（250字以上）、
パスポート所持の有無と有効期限、参加にあたっての同意確認、
誓約書提出（PDFまたはJPEGでアップロード）、事前に伝えておきたいこと

出願の流れ

1. 出願期間

2026年 4月 20日 (月) 12:30 ~ 5月 7日 (木) 13:00

※先着順受付

※出願時における提出書類の不備、複数プログラムへの同時出願（併願）は**出願無効**となります。

2. 出願にあたっての注意事項

- MS Forms へのログインは関大アドレス (k+6 桁の数@kansai-u.ac.jp) を使用すること。
その他のアカウントの場合は受付できません。
- 提出内容に不備がある場合は出願無効となりますので注意してください。
- 申込み後の変更・キャンセルは受け付けませんので、よく検討したうえで申し込んでください。

3. 出願

- 上記出願期間中に Microsoft Forms にアクセスし、出願してください。
Microsoft Forms リンク: <https://forms.office.com/r/nEp7mteg1B>
※ 出願期間までは回答を受け付けていません。
- 先着順受付です。募集人数に達した段階で受付を終了します。
- 誓約書については、7 ページを参照してください。



4. 結果通知

2026年 5月 8日 (金) までに関大 Web アドレス宛にメールで通知します

- プログラム催行が決定後、順次参加決定メールを送ります。関大 Web メールを定期的に確認してください。
- 定員に達しなかった場合は、催行中止となります。ただし、追加代金にて調整のうえ催行する場合があります。

5. 面談

参加確定後～5月中旬に一人当たり10～15分程度の面談を予定しています。可否に関わるものではありません。
面談日時については、参加確定者にお送りする日程調整用のフォームにて調整します。

安全対策方針

外務省「危険情報」・「感染症危険情報」の目安と関西大学の基本方針

・外務省「危険情報」

目安	目安の詳細	大学の基本方針	
		渡航前 (2カ月前～)	渡航中
■危険レベル1 十分注意してください。	その国・地域への渡航、滞在に当たって危険を避けていただくため特別な注意が必要です。 ※当該国(地域)への渡航、滞在に当たって特別な注意が必要であることを示し、危険を避けるよう勧めるもの。	原則 「実施」する →注意喚起を行う	原則 「継続」する →注意喚起を行う
■危険レベル2 不要不急の渡航は止めてください。	その国・地域への不要不急の渡航は止めてください。渡航する場合には特別な注意を払うとともに、十分な安全対策をとってください。 ※当該国(地域)への渡航に関し、渡航の是非を含めた検討を真剣に行い、渡航する場合には、十分な安全措置を講じることを勧めるもの。	「中止・延期」を検討する	「帰国」を検討する
■危険レベル3 渡航は止めてください。 (渡航中止勧告)	その国・地域への渡航は、どのような目的であれ止めてください。(場合によっては、現地に滞在している日本人の方々に対して退避の可能性や準備を促すメッセージを含むことがあります。) ※当該国(地域)への渡航は、どのような目的であれ中止を勧めるもの。また、場合によっては、現地に滞在している日本人の方々に対して退避の可能性の検討や準備を促すメッセージを含むことがある。	「中止」とする	「帰国」とする
■危険レベル4 退避してください。渡航は止めてください。 (退避勧告)	その国・地域に滞在している方は滞在地から、安全な国・地域へ退避してください。この状況では、当然のことながら、どのような目的であれ新たな渡航は止めてください。 ※当該国(地域)に滞在している全ての日本人に対して、滞在地から安全な国・地域への退避(日本への帰国も含む)を勧告するもの。この状況では、当然のことながら新たな渡航は延期することが望まれる。	「中止」とする	「即時帰国」とする

・外務省「感染症危険情報」

目安	目安の詳細	大学の基本方針	
		渡航前 (2カ月前～)	渡航中
■危険レベル1 十分注意してください。	特定の感染症に対し、国際保健規則(IHR)第49条によりWHOの緊急委員会が開催され、同委員会の結果から、渡航に危険が伴うと認められる場合等。	原則 「実施」する →注意喚起を行う。	原則 「継続」する →注意喚起を行う。
■危険レベル2 不要不急の渡航は止めてください。	特定の感染症に対し、IHR第49条によりWHOの緊急委員会が開催され、同委員会の結果から、同第12条により「国際的に懸念される公衆の保健上の緊急事態(PHEIC)」としてWHO事務局長が認定する場合等。	「中止・延期」を検討する	「帰国」を検討する
■危険レベル3 渡航は止めてください。 (渡航中止勧告)	特定の感染症に対し、IHR第49条に規定する緊急委員会において、第12条に規定する「国際的に懸念される公衆の保健上の緊急事態(PHEIC)」が発出され、同第18条による勧告等においてWHOが感染拡大防止のために貿易・渡航制限を認める場合等。	「中止」とする	「帰国」とする
■危険レベル4 退避してください。渡航は止めてください。(退避勧告)	特定の感染症に対し、上記のレベル3に定めるWHOが感染拡大防止のために貿易・渡航制限を認める場合であって、現地の医療体制の脆弱性が明白である場合等。	「中止」とする	「即時帰国」とする

支払い・手続き

1. 参加費支払い

参加決定者にメールにて請求書をお送りします。

請求書にもとづき、下記期日までにプログラム費用全額を一括でお支払いください。

2026年 5月 18日 (月)	メールにて請求書送付
2026年 5月 27日 (水)	入金締切

- 振込手数料は各自負担でお願いいたします。
- 事情により大幅に変動した場合、帰国後に返金または追加徴収する場合があります。
変動が発生した場合の清算時期は 2026 年 9 月末頃を予定しております。

2. パスポートコピー提出

2026年 6月 1日 (月)	提出期日
------------------------	-------------

- 提出方法は参加確定者に連絡します。
- 2027 年 2 月 16 日以降も有効なものを提出してください。(インドネシア政府入国条件による) それまでに期限が切れるパスポートを所持している場合は、参加確定後に速やかに更新手続きをとること。

3. 渡航までに必要な手続き一覧

詳細や提出方法は参加確定者に案内します。

面談日程調整	担当スタッフとの顔合わせや事前確認を目的としており、可否には影響しません。
参加費支払い	請求書はメールで送付
パスポート提出	2027 年 2 月 16 日以降も有効なもの。
銀行口座情報の提出	短期奨学金の支払い先情報
定期健康診断受診	未受診の場合は保健管理センターに確認のうえ、5 月 31 日までに受診すること。
海外旅行保険加入申込み	支払いは不要
プロ・ファインダー登録	海外渡航安全管理アプリ
インドネシア入国査証等申請手続き	出発前オリエンテーションで説明予定 日本国籍の場合は観光ビザが必要です。
帰国後の留学報告書提出	奨学金支給のために提出必須

留学準備オリエンテーション・セミナー

留学前に実施する各種オリエンテーション、セミナーへの出席ならびに動画の視聴は**必須**です。
授業以外の理由での欠席は認められません。アルバイトによる欠席も不可です。

なお、出席状況が不良な場合は、レポート（反省文）提出や国際部との面談を課します。
改善がみられない場合は留学許可を取り消すことがあるので十分注意してください。

留学前オリエンテーション・セミナー【すべて必須】

日程	時間		
5月27日(水)	18:00~20:00	対面	参加確定オリエンテーション
~6月8日(月)		オンデマンド	海外旅行保険説明動画
6月10日(水)	18:00~20:00	オンデマンド	レディネスセミナー① 留学前に知っておきたいジェンダー・人種と交差性の話
6月19日(金)	18:00~20:20	リアルタイム オンライン	レディネスセミナー② 危機管理セミナー
7月10日(金)	18:00~20:00	対面	出発前オリエンテーション、ウダヤナ生とのオンライン顔合わせ

- ※ 参加確定オリエンテーションおよび出発前オリエンテーションは、チームワーク構築のため原則対面参加（千里山キャンパス）とします。ただし、千里山キャンパス以外のキャンパスに通っている方はオンラインでの参加を認めます。オンラインでの参加を希望される場合は、必ず事前にその旨を連絡してください。
- ※ 実施形態に変更がある場合は随時ご連絡します。
- ※ 各オリエンテーション・セミナー参加用の ZOOM リンクは、参加決定後にメールで連絡します。



手続きに関する連絡はメールで行います。必ず定期的に確認すること！

プログラム詳細・スケジュール

バリプログラム（インドネシア）



【フライトスケジュール予定】

2026年3月現在

【国名】 セミナー名 (利用予定航空会社)	往路			復路		
	日時	便名	現地時間 空港名	日時	便名	現地時間 空港名
【インドネシア】 バリ (シンガポール航空)	8/15 (土)	SQ623	23:25 関西国際空港発	8/26 (水)	SQ947	21:40 デンパサール空港発
	8/16 (日)	SQ934	4:45 チャンギ空港着 6:20 チャンギ空港発 8:55 デンパサール空港着	8/27 (木)	SQ618	00:15 チャンギ空港着 01:25 チャンギ空港発 08:50 関西国際空港着

※上記はあくまでも予定です。万が一、変更があれば参加者へ事前にお知らせします。

※上記以外の空港となった場合、別途移動費が生じる場合があります。

※空港への集合時間は**出発時間の3時間前**を予定しています。

※団体航空券利用ならびにグループ渡航となるため、旅程途中の参加や離団はできません。

【主な研修先】 児童養護施設 Widhya Asih Singaraja



【滞在先予定】 Singaraja エリア：ホテル（1名1室）朝食付き
Sanur エリア：ホテル（2～3名1室）朝食付き



【プログラム監修教員】 関西大学 人間健康学部 福田公教教授

【過去参加学生コメント】 2025年度参加学生 留学報告書より抜粋

この留学全体でのわたしの目標はコミュニケーションであった。初めて海外留学することになり、1番の不安要素として言語の壁があった。そんな中現地に着いて、バリのウダヤナ大学の大学生と食事する際、初めは緊張し、うまくコミュニケーションをとることが出来なかったが、日にちを重ねていくにつれて、児童養護施設での食事の時や修復作業の時も積極的にウダヤナ生とコミュニケーションを取れるようになった。

今回の留学での活動を通じて、私にとって当たり前で普通のことだと思っていた生活は、他の国の人にとっては決して当たり前のことではなく、普通の生活でないということに気が付いた。今まで私は海外に行ったことがなかった為、当然外国人と直接的に接する機会が全く無かった。しかし今回の経験を通して、自分の視野を大きく広げることができ、様々な人と関わることができたと思う。またこの活動で、知らない人と英語で話すという勇気やコミュニケーション能力、先を見据えて物事を考え行動していくというスキルを身につけることができたように思う。



【プログラムスケジュール（参考）】

	day 1 Aug 15 (Sat.)	day 2 Aug 16 (Sun.)	day 3 Aug 17 (Mon.)	day 4 Aug 18 (Tue.)	day 5 Aug 19 (Wed.)	day 6 Aug 20 (Thu.)	day 7 Aug 21 (Fri.)
AM		デンバサル着 Singarajaへ移動	学生交流 目標確認 アイスブレイク	プロジェクト活動	現地中学・高校訪問	現地高校訪問	家庭訪問 (子供たちの 出身村訪問)
PM	関空集合 日本発（深夜便）	オリエンテーション ホテルチェックイン 買い物	プロジェクト活動	プロジェクト活動	プロジェクト活動	プロジェクト活動	プロジェクト活動
宿泊 場所		Sinagaraja	Sinagaraja	Sinagaraja	Sinagaraja	Sinagaraja	Sinagaraja

	day 8 Aug 22 (Sat.)	day 9 Aug 23 (Sun.)	day 10 Aug 24 (Mon.)	day 11 Aug 25 (Tue.)	day 12 Aug 26 (Wed.)	day 13 Aug 27 (Thu.)
AM	市場へ食材買い出し 地域の人と交流	教会訪問	Singaraja発 Ubud到着	グループ別行動	デンバサル周辺	日本着 関空にて解散
PM	日本食（カレー）作り	フェアウェル 子供たちと交流	Ubud内観光	ウダヤナ大学にて プログラム振り返り フェアウェル夕食	デンバサル発	
宿泊 場所	Sinagaraja	Sinagaraja	Sanur	Sanur		

■プロジェクト活動（ボランティア活動）

Widhya Asih（ウィディア・アシ）は、バリ島全土で6つの児童養護施設と家族支援プログラムを運営する団体。本プログラムでは、**バリ島北部の Singaraja**にある児童養護施設にて、**施設環境改善のボランティア活動**を行います。

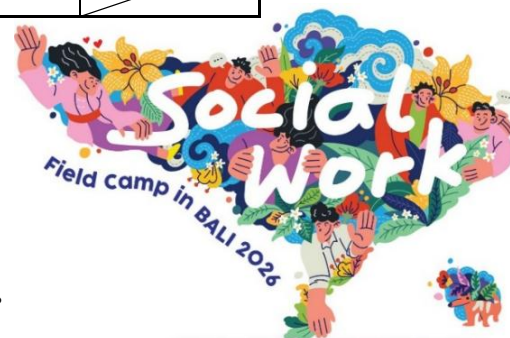
2024年度は椅子の修繕、2025年度は遊具の修繕および色付けを実施しました。

2026年度は、施設内の景観整備として地面整備を予定しています。

作業は初心者でも参加可能で、**子どもたちへより良い学習機会と、**

安心して生活できる環境を提供できるようサポートする活動を行います。

※ボランティア活動内容は、現地の状況に合わせて変更になる可能性もあることをご了承ください。



■施設の子もたちと交流&現地中学・高校訪問・家庭訪問

Widhya Asih Singaraja には、小学生から高校生までのさまざまなバックグラウンドを持つ子どもたちが50名以上生活しています。約1週間、子どもたちとともに過ごし、互いの文化や習慣、日本の遊び等を**簡単な英語で交流**します。また、**子どもたちの出身村を実際に訪問**し、現地のリアルを学ぶ機会もあります。さらに、**地域の中学・高校を訪問**し、**多宗教の環境**にあるバリの学校について理解を深めます。



■現地の文化に触れる／バリを知る／バリの大学生と共に過ごす

バリでは**宗教や文化が日常に根付いて**おり、教会訪問などを通して、宗教の側面も含めた「リアルなバリ」に触れるアクティビティも含まれています。また、**グループ別にウブドや穏やかなリゾート地サヌールを散策**するなど、観光地としてのバリも体験できます。

さらに本プログラムの大きな特徴として、**現地の大学生が全日程同じスケジュールで参加**します。

滞在期間中は、**言語や文化を超えた交流**を通して、ともに多様な経験を積むことができます。



情報収集 ・ 相談会

1. 過去の参加学生の留学報告書（関大 LMS）

現地で学んだこと、留学を通して成長したこと、現地での生活の様子なども書かれています。

参加を検討されている方はぜひご一読ください。

- 【閲覧方法】
- ①インフォメーションシステムから【関大 LMS】にログイン
 - ②【コースの追加】をクリック
 - ③【短期留学】**帰国生留学レポート** を選択してクリック
 - ④コースへの参加【メンバーになる】をクリック
 - ⑤2024 年度または 2025 年度夏季海外体験型研修（SDGs を学ぶ）
⇒ **2024 年度 夏季バリ島プログラム（インドネシア）報告書**
2025 年度 夏季バリ島プログラム（インドネシア）報告書

【2025 年度の様子はこちら】



2. 説明動画

表紙に記載している QR コードを読み取ってください。

プログラム内容や出願方法についての説明を写真や動画とともに案内しています。

3. 各キャンパス相談会

実施時間はいずれの日も 12:10～13:30 です。

千里山キャンパス以外のキャンパスでは、終日同場所で相談可能ですが、

上記時間帯は担当者が複数名いますので、この時間帯をおすすめします。

相談会には募集要項を熟読し、説明動画を視聴してお越しください。

【各キャンパス相談会スケジュール】

- 4月6日（月）吹田みらい（S108）
- 4月7日（火）堺（ラーニングcommons）
- 4月8日（水）千里山（凜風館グローバルエリア）
- 4月9日（木）高槻ミュージズ（M901）
- 4月10日（金）高槻（TEB3）
- 4月13日（月）千里山（凜風館グローバルエリア）

4. 問い合わせ先・個別相談

関西大学 千里山キャンパス第2学舎2階 国際部

Email: エムエル
mi-bali@kandai-pensee.co.jp

個別相談を希望される場合は、メールに相談希望日時を複数記入して送ってください。

メール件名： バリプログラムの相談について

メール本文： ・学籍番号

・氏名

・相談希望日時（1回30分程度）※できれば複数

・相談方法 対面（千里山キャンパス国際部）もしくはオンライン（Zoom）

メールを受け取り次第、相談希望受付の旨と相談日時を確定して連絡します。

オンライン希望の場合は、そのときに ZoomID 等をお送りします。